

## インターネット望遠鏡を利用した天文学教育の可能性

### Program

**開会の挨拶 13:00~13:05**

プロジェクト代表 小林 宏充 (慶應義塾大学)

**講演 13:05~13:50**

**可視・電波観測で探る銀河・銀河系の構造**

中西 裕之 (鹿児島大学)

**研究成果発表 13:50~15:05**

**山形県立鶴岡南高校での観測—小惑星の観測と軌道要素の計算—  
木星質量の測定**

山本 裕樹 (東北公益文科大学)

日高 正貴 (愛知県立明和高校)

**インターネット望遠鏡を利用した月の継続的観測・解析と教材化**

大羽 徹 (名古屋大学附属中・高校)

**休憩 15:05~15:25** 休憩時間を利用してインターネット望遠鏡を利用した天体観測体験コーナーを設けます

**プロジェクトの活動報告 15:25~16:55**

**テキスト出版・星座カメラ設置について**

上田 晴彦 (秋田大学)

**鹿児島市立博物館とサイエンスアゴラ出展・防衛大望遠鏡設置報告**

迫田 誠治 (防衛大学校)

**慶應インターネット望遠鏡とマカリを活用して—あなたもできるデジカメ天文学より—**

松本 榮次 (西宮市立上ヶ原南小学校)

**富山県立大学のダビンチ祭報告**

戸田 晃一 (富山県立大学)

**東海大学での望遠鏡設置状況**

櫛田 淳子 (東海大学)

**その他**

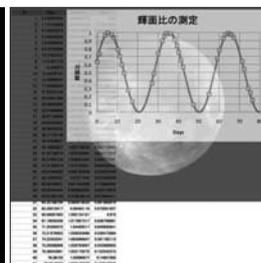
**閉会の挨拶 16:55~17:00**

五藤 信隆 (五藤光学研究所)

#### 講演要旨

私たち鹿児島大学宇宙物理学研究室では超長基線電波干渉計VERAを用いてメーザー天体の年周視差計測により銀河系構造や回転速度についての研究を進めている。

加えて私たちの研究グループが進めている木曾観測所シュミット望遠鏡や野辺山45m鏡を用いた銀河系外縁部構造の研究、米国JVLA観測データによる銀河の磁場構造、豪州Parkes望遠鏡観測データによる銀河の進化の研究など鹿児島大学での研究成果を紹介し、インターネット望遠鏡との関わりについてお話ししたい。



## 2016年2月20日(土) 13:00~17:00

**会場：慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎1階シンポジウムスペース**

**対象：学生・教職員・一般**

※日吉駅徒歩3分

**参加費：無料(申し込み不要)**

休憩時間にインターネット望遠鏡を利用した天体観測が体験できます

天災・交通事情など予期せぬ事態により変更・中止となる場合がございます。その場合、下記のウェブサイトでお知らせしますので、事前にご確認下さい。

